

# 「さみしい夜の句会 第三集」発刊

## 32人が短詩作品寄せる

大鰐町の川柳作家・月波 与生さんがX（旧ツイッター）上で行っている句会「さみしい夜の句会」に寄せられた作品を集めた合同作品集「さみしい夜の句会 第三集」が満天の星から発刊された。川柳、俳句、短歌などの短詩文芸作品や散文作

品、柳誌「水脈」編集発行人の浪越靖政さんによる作品評などを掲載している。「さみしい夜の句会」は2021年から始まり、年に1冊句集を出してきた。今回は月波さんを含め32人が短詩作品を寄せ、うち17人はエッセーなど散文作品も寄せた。浪越さんの作品評は各人の各2句・2首について評をしている。



月波 与生編 定価 1,460円  
さみしい夜の句会  
第三集

### 「さみしい夜の句会 第三集」

参加者の投稿が毎週のようにあり、それが『さみしい夜の句会』を運営する刺激になっていきます」とし、昨年対面の句会も始めたことに触れながら「SNSとリアル句会がどう繋がっていくのか楽しみであり不安でもあります。誰もやったことのない取り組みであるし、余計なコントロールはせずナチュラルに進めていこうと思っています」と述べた。

※「さみしい夜の句会 第三集」はA5判、146頁、税込み2000円。弘前市のまわりみち文庫で取り扱いしているほか、Amazon、満天の星のウェブサイトから注文できる

（野呂日露乃）